



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ノーリツ
代 表 者 名 代表取締役社長 竹 中 昌 之
(コード 5943 東証プライム市場)
問 合 せ 先 常務執行役員 岸 栄 一
経営企画本部長
(電話番号 078-391-3361)

第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026 年 2 月 10 日に公表いたしました 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 12 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	98,800	380	930	2,648	57 円 91 銭
今 回 実 績 (B)	99,566	1,834	2,020	4,996	109 円 28 銭
増 減 額 (B－A)	766	1,454	1,090	2,348	－
増 減 率 (%)	0.8	382.6	117.3	88.7	－
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 12 月期第 2 四半期)	98,523	1,658	2,236	1,204	26 円 18 銭

2. 第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異の理由

第 2 四半期連結累計期間の実績につきましては、国内事業において、主に温水空調分野におけるシェア拡大施策の効果等により販売台数が増加し、営業利益が大幅に増加いたしました。一方、海外事業においては、中国エリアにおける市況低迷が継続したことにより営業利益が悪化いたしました。しかしながら、国内事業における営業利益の改善幅がこれを上回ったことから、連結全体では営業利益が前回予想を大幅に上回る結果となりました。これに伴い、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益も増加いたしました。

上記の結果、上期においては計画を上回る利益を確保いたしました。中国における経済環境の先行き不透明感等を踏まえ、現時点において通期の営業利益予想について据え置いております。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上